

日本原子力学会 核燃料部会

平成 23 年度 第 3 回運営小委員会議事録

日時 :平成 23 年 12 月 21 日(水) 10:00~11:40

場所 :日本原子力学会事務局会議室

出席者 :(順不同)

岩田部会長、安部田副部会長、浅賀委員、大江委員、緒方委員、北嶋委員、草ヶ谷委員、高野委員、平井委員、更田委員、巻上委員(途中退室)、真寄委員、若松[記](13名)

議事

1.平成 24 年度夏期セミナーについて

大江委員より資料 No.1 にて、平成 24 年度夏期セミナーについての説明があった。セミナープログラムおよび核燃料部会の役割分担が提案通りの内容にて了承された。また、運営費用において、赤字がでた場合の費用負担方法と、逆に黒字がでた時の配分方法について取り決めをしておく必要があるため、大江委員にて水化学部会、材料部会と調整することとした。なお、例年夏期セミナーの際に行なう運営小委員会については、時間が制約されることと部屋利用料が必要となることを考慮し、今回は実施しないこととした。予稿集のダウンロードについては、パスワードを決める等してダウンロードできる対象者を制約することで3部会とも認識しているとのことであった。

2.H23 年度(福井大)の企画セッション

安部田副部会長より資料 No.2 にて、来年3月の春の年会(福井大)の企画セッションについての説明があった。3つの講演を計画しているが、1番目に計画されている山中先生の講演は最後に持っていく方が講演内容の流れとしてよいという意見があり、担当の小林委員にて山中先生のご意見も聞いて順番を変更するかどうか検討してもらうこととなった。また、講演者のお1人の早田氏への旅費、宿泊費、謝礼として約4.8万円を支出したいとの提案があり、今年度予算内で処理できる見込みであることから、この提案に対する異論は特にはなかった。

3.WRFPM2014 幹事会の報告

安部田副部会長より資料 No.3 にて、WRFPM2014 幹事会の報告があった。2005 年に京都で行なわれた際の詳細記録が残っており、これを参考に取組んでいくとのことであり、また、実行委員会が実務を取り仕切ることになるが、実務をしっかりとこなせる体制作りが重要との認識で一致した。核燃料部会として全員の協力を得ながら進めたいとのことであった。

4.核燃料と水化学の勉強会について

安部田副部会長より資料 No.4 にて、核燃料と水化学部会の勉強会についての実施状況の紹介があった。課題のリストアップ、優先順位付けといった作業を行ない次のアクションプランを立てることが必要ではないかとの意見が出され、今後そのような取組みをしていくとのことであった。

なお、本件とは別の話として、核燃料部会の溶融WG、燃料高度化WGの役割、あり方を調整・検討していくべきとの意見がだされ、各WGにてまずは議論してもらうこととした。加えて、企画小委員会とWGの関係についても整理する必要があるとの意見がだされた。

5.通常予算・平成 23 年度使用状況と平成 24 年度予算

若松庶務幹事より資料 No.5 にて、通常予算の平成 23 年度使用状況と平成 24 年度予算について報告があった。

年度末繰越金の使用について部会判断で繰越金を使えないのかどうか学会事務局へ確認するようにとの意見がだされ、若松庶務幹事にて事務局へ確認することとした。

また、夏期セミナー予算、燃料高度化 WG 予算も資料に載せるようにとの意見があった。

6.平成 24 年度業務分担案

若松庶務幹事より資料 No.6 にて、H24 年度の業務分担の提案があった。

提案通りの分担とすることで了承された(下記の通り)。

- ・グループ 1: (国内企画)名古屋大学、(夏期セミナー)北海道大学、(広報)福井大学
- ・グループ 2: (夏期セミナー)日本原燃
- ・グループ 3: (国内企画)電力中央研究所
- ・グループ 4: (部会報)東京電力、(庶務幹事)日本原子力発電

7.次回の運営小委員会、全体会議の開催日時について

若松庶務幹事より資料 No.7 にて、次回の運営小委員会、全体会議の開催日時について提案があった。

春の年会(福井大)にて、企画セッションが 3 月 19 日(月)に行なわれることから、全体会議が同日の 12:00-となるため、それに応じて運営小委員会を 3 月 19 日の 10:30-11:30 で行なうことで了承された。

以 上